



「こんにちは 市長です」 3月20日号

3月7日(土)、午後5時前「新型コロナウイルスが太田で発症しました」電話が鳴った。瞬間、頭は真っ白。すぐに着替えて役所に向かった。部長はじめ関係者が1階のフロアで言葉も少なく、これからのことを話していた。

木崎あおぞら保育園の園長から電話があったと秘書から報告があった。保育園関係といううわさはすでに広まっているようで「K保育園みたいだよ」と、もしも誰かがつぶやくとそのまま拡散していく。怖いのは、「みたいだよ保育園」をそのまま半日も放っておくと「ほんと」に変わっていく。デマが大通りを胸張って闊歩(かっぽ)するようになる。恐ろしいことだ。

8日(日)記者会見。園長が共同記者会見をしてもいいという。彼が記者会見場に来ると濃厚接触の可能性があるのでテレビ電話で参加してもらった。普通ならためらう。園長は自らの責任で記者からのほとんどの質問に答えた。他の保育園にあらぬうわさが飛ぶことを、そして関係もなかった園までが魔女狩りに遭うことを避けようとしたのだと思う。私も賛成した。私の目の前にはマイクがやたら並んでいる。テレビカメラは7、8台。感染した人が保育士ということで注目されたのだと思う。現に、ツイッターで記者会見内容の一部をつぶやいたら普段の100倍もの返事が来た。

木崎地区の子どもたちの動きを止めることにした。早い時期に沈静化することを祈っている。気掛かりは感染した保育士さんである。いつもの元気を取り戻してほしい。感染拡大防止のために全力で取り組んでいく。